

経営革新

計画・レビュー

CTI導入で業務を効率化

トライアイ



植山 社長

トライアイは独立系のコンタクトセンター運営会社。リナックスなどオープンソースを使ったコンピュータ電話統合

(CTI)システムの開発・導入で業務の効率化を図る。大手の既存システムは1席当たり50万100万円と費用負担が大きいわが、業務内容の変更対応が難しいなど使い勝手が良くないという。このため、新システムを開発、まず社内の業務革新に使う。将来的には外販する方針。

新システムは、従来1時間に10~15件の電話発信の回数を1.5倍程度

03・5786・036
▽業種Ⅱその他の専門サービス

△H.P.Ⅱ www.tty-1.co.jp

《社長のひと言》植

に増やせるほか、オペレーターの発信結果、問題の有無、成績の管理など業務面の状況を現場責任者が瞬時に把握できるという。システム導入で成績が瞬時にわかるため、オペレーターのモラルアップや、営業成績の管理などの効率化が図れる。

養鶏システム 低価格で提供

東洋システム



安田 社長

東洋システムは、鶏卵の自動収集装置や鶏舎を管理するコンピューターシステムなど採卵鶏向けの設備機器を販売、養鶏

のオートメーション化に寄与してきた。01年から個別の案件ごとに設計・施工していた鶏舎を標準化し、低価格で提供できる仕組みづくりに取り組んでいる。

同社は基本モデルとなる鶏舎を自社で設計し、ドアや壁のパネルなど必要な部材を海外から調達。また、電気配線に必要な制御盤を製作、さらに配線工事の方法を標準化することで、工期短縮によるコストダウンと品質の安定化を図った。

105
▽業種Ⅱ養鶏システムの製造・販売

△H.P.Ⅱ www.hyte-h.com

《社長のひと言》安田勝彦社長「今後は利益確保を重視した経営をしていきたい」